

JISA 関西地区会 開催報告

令和 7 年 10 月 3 日（金）、グランフロント大阪北館タワーC8 階 ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC において令和 7 年度関西地区会が開催された。参加者は関係者含め 49 名であった。

冒頭、関西地区会代表幹事（コンピューターマネージメント（株）代表取締役会長）竹中勝昭氏が「大阪は万博で活気に満ちています。本日はご参加いただき、ありがとうございます。」と挨拶した。



JISA
富安 寛 副会長

次に、JISA 副会長（（株）NTT データグループ常務執行役員）富安寛氏が、「AI の開発や利活用が進む中、AI を使いこなす優秀な人材が必要となっています。ご参加いただいた皆様が AI 時代をうまく乗り越えていけるよう祈念いたします」と挨拶した。

また、進藤一英氏（コンピューターマネージメント（株））が JISA 関西地区会の活動を報告し、本年度は 2 月にも開催したいと述べた。



関西地区会
代表幹事
竹中 勝昭氏

続いて、武庫川女子大学 共通教育部 教授の宗平順己氏が「DX＝価値創造に資する AI 利活用」という演題で講演した。講演は Part I 「DX の正しい理解」と Part II 「AI 活用の方向」の 2 部構成で行われた。Part I では DX の定義や目的、日本の状況、新たな顧客経験をデザインし提供すること（サービスデザイン/デザイン思考）の重要性、DX 推進のフレームワーク等について言及した。Part II では、製造業と小売業での活用事例を紹介しつつ、機械学習と生成 AI は特性（役割や強み）が異なるため、両者を連携させて戦略的に活用して欲しいと提唱した。



武庫川女子大学
共通教育部 教授
宗平 順己氏



JISA
福永 哲弥 会長

講演会の後は懇親会が行われ、JISA 福永哲弥会長（SCSK(株) 参与 シニアフェロー）が乾杯の挨拶を行い、JISA 高橋淳副会長兼専務理事の中締めにより、盛会のうちに閉会した。

（JISA 事務局）